

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅵ産業振興	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 産業間の融合により、6次産業化を進める 2 環境と共生し、付加価値を生み出す農業を育てる	常総市の地域農業は、担い手の減少及び高齢化に伴う後継者不足や耕地面積の減少により水稻栽培を中心に生産量を維持していく上での課題があります。 その課題解決として常総 IC 周辺において生産・加工・流通・販売が一体となった産業団地「アグリサイエンスバレー常総」を形成し、企業誘致により新たな農業モデルの展開や道の駅を核とした地域農産物の地産地消化・ブランド化を図り一定の成果が生まれました。 しかし、依然として課題解決には至っておらず、持続可能な地域農業へ向けた更なる発展・波及が必要不可欠であることから6次産業化推進事業を実施していきます。	本年度は、農業を活かしたまちづくり「アグリサイエンスバレー事業」の取り組みを、より地域農業・地域経済に波及することを目的に、消費者ニーズのある農産物の加工及び加工品等の開発を行う施設「6次産業化推進拠点施設」の基本計画を策定します。
	施策	1 アグリサイエンスバレー・道の駅常総 2 農業		
	施策内容	道の駅を核とした地域産業の活性化、地域地消・6次産業化の推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	・常総市「道の駅」基本計画 ・常総市農業基本計画		
事務事業名	6次産業化推進事業			

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
6 次産業化推進拠点施設基本計画策定業務（R 6）	庁内検討委員会の開催	（回）	4	－	9,500 千円	9,438 千円
			4	－		
6 次産業化推進拠点施設基本計画策定業務（R 6）	公募ヒアリングの実施	（回）	1	－		
			1	－		
6 次産業化推進拠点施設基本計画策定業務（R 6）	6 次産業化推進拠点施設 先行事例視察	（件）	3	－		
			3	－		
運営組織組成（R 7）	運営組織の組成及び実働に向けたロードマップの整理、調査・分析、アクションプランの策定	事業数（件）	1	－		
				－		
運営組織組成（R 8・9）	運営組織組成、実働に向けたアクションプランの実施、事業計画の具体化	事業数（件）	－	1	千円	千円
				1		
施設整備（R 8・9）	6 次産業化施設基本設計、実施設計	事業数（件）	－	1	千円	千円
				1		
施設整備（R 10）	6 次産業化施設造成・建築	事業数（件）	－	－	千円	千円
				－		
開業準備（R 10）	運営体制準備、人材確保・育成	開業	－	－	千円	千円
				－		
施設運営開始（R 11）	施設運営（管理・運営）	売上金額			千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
農水産出荷額	—	—
連携事業者数	—	—
開発又は製造された商品数	—	—

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
6次産業化推進拠点施設の導入可能性調査として基本計画策定業務を行い、6次産業化に向けた市場調査や分析、各種企業ヒアリング等の実施により事業化検討を行いました。 また、基本計画の策定にあたっては、庁内検討委員会を設置し、庁内各部門と6次産業化推進拠点施設の導入へ向けて横断的な協議を行いました。	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	「6次産業化推進拠点施設」の導入に向けて策定した基本計画の方針をもとに設置検討を進めます。また、当該施設の運営機能を基軸にアグリサイエンスバレー事業の機能と地域農業との事業連携を促進するハブ機能、これらを活かした地域振興策を多角的に企画・実行できる地域商社機能を有する運営組織の組成に向けてアクションプラン等の策定を実施していきます。			